**1  総領事館での参加者のやり取りや意見と参加者の評価**

　JAの桃ジュースと林檎ジュース、桃のラガー、サングリアの素、そして大和川さんの日本酒を酒ブースにて振舞ったところ、ウェルカムドリンクで一杯、その後食事の時と歓談時に一･二杯と、計二、三杯飲まれた方がほとんどだった。

　ジュースは、ちょうど良い飲み切りサイズであることと濃厚な味がとても人気で、特に桃ジュースを試飲される方が多かった。日系スーパーの方によると「店にあるフルーツジュースの中でも桃と葡萄が常に人気だが、これは桃を丸ごと食べているような濃い味で、是非店に置きたい」と、うれしいお言葉をいただいた。

　ほんのりと後味のする桃のラガーは、ラベルの印象や桃！という先入観で飲んでみると、思ったほど桃の味はしない、という声が小数だが聞かれた。

　女性の興味を一番引いたのがサングリア。サングリアを作るのに合うワインを使用したのもあり、ドライフルーツとスパイスがしっかりと味わえるが、甘くて飲みやすいと女性に好評。ボトルに描かれている南相馬や会津の絵柄もおしゃれで、自分でワインを注いで作るというアイディアも面白く、ギフトとしても最適だと感じた。また、購入先や価格についての質問も多く受けた。

　日本酒はほぼ大和川さんが直接サーブされていたので、横にいた私の印象を少し。やはりSakeは人気で男性はもちろん、女性も多く飲み比べをしていたように思う。特に女性に注目されていたのが、目新しいスパークリング日本酒。シャンパンのようで飲みやすく「パースに入ってきたら是非購入したい」と言っていた若い女性二人組も。

**2  福島県の物産や観光のPRに関するアドバイス(ご本人や旦那の意見)**

**3  オーストラリア人の嗜好**

　北海道のニセコはスキーホリデーに行くオーストラリア人の定番。ニセコでのスキーが好きだという男性によると「福島でスキーができるとは知らなかった、飛行機で乗り継がずに、東京から新幹線で一時間半という距離も子連れには魅力的」とのこと。北海道と同等にスキーホリデーで福島をアピールするのは難しいかもしれないが、福島には、日本の魅力が全て近場にあると思う。福島に住んでいたこともある主人曰く、

・パーティー好きが多いオーストラリア人にとって、満開の桜の木の下で飲むお酒（お花見）は最高。

・福島の中心地からもスキー場は近いし、寒い雪山でスキーをして散々楽しみ、その後に雪を見ながら入る温泉はとても贅沢。

・東京やニセコには外国人がたくさんいるが、真の日本を見たいなら福島へ。交通の便はいいし栄えているが、阿武隈川に来る白鳥や、茂庭の方に見られるサルなど、オーストラリアでは見られない光景や自然もたくさん溢れている。鶴ヶ城や武家屋敷といった日本を見ることも出来るし、福島では”Authentic Japan”を感じられる。

**4  6次化産業の視点からのスワンバレーの魅力**

あちこちに馬や羊、アルパカなどが見え、ワイン用のブドウ畑があたり一面に広がっているスワンバレー。週末ともなれば、ワイナリーもブルーリーもどこも人でいっぱい。皆家族や友人と集まり地元産の美味しいものを食べ、そこで醸造されたお酒を飲みながら、週末の午後に楽しい時間を共有する。ワイナリーに併設されているレストランも多く、テーブル席はもちろん、外の芝生エリアに自分で持ってきたラグを敷いてピクニックもできる。ギター弾き語りやジャズバンドの生演奏などもあり大人たちはビールやワインを手にし、そして子供たちは敷地内に設置された遊具で遊び、それぞれが楽しんでいる姿が多く見られる。暑いオーストラリアの夏だが、湿気が無いので日陰に入れば暑さをしのげ、逆に冬でも日向にいれば日中はさほど寒くない。

　パースから車で約30分で着き、それぞれのワイナリーやチョコレート工場などの場所も近いため、行きやすいというのも人気の理由の一つなのかもしれない。